

# 標準的な運賃 計算シート（詳細版） 利用要領



公益社団法人

全日本トラック協会

Japan Trucking Association

## 詳細版計算シートの作成趣旨

(公社)全日本トラック協会では、国土交通省が告示した「標準的な運賃」を踏まえ、距離制及び時間制に係る基準運賃、割増・割引、料金及び実費の算出ができる詳細版「標準的な運賃計算シート」を作成しました。

この計算シートにより、自社の運行形態や原価実態にあわせた運賃・料金・実費の算出ができますので、ご活用ください。

## 詳細版計算シートの活用方法

- ・この計算シートでは、車両情報、距離制運賃及び時間制運賃の算出に必要な項目に入力することで、標準的な運賃（基準運賃表）に基づく、距離制運賃・時間制運賃における「運賃、料金、実費」を算出できます。（1シートで100パターンの算出が可能）
- ・簡易版との相違点は、以下の通りです。
  - ✓ 基準運賃に対して割増・割引の適用による算出
  - ✓ 積込・取卸料金、附帯作業料金、待機料金の算出
  - ✓ 実費の算出
  - ✓ 幅運賃の算出
  - ✓ 現行收受運賃等との比較

○この計算シートに関するご質問、お問合せ先 : 日本PMIコンサルティング株式会社  
電話 : 03-6273-1480 メール : m-kosaka@pmic.co.jp

# ステップ1 (距離制運賃・時間制運賃 共通)

- ①下段の「前提条件」タブをクリック。以下の画面イメージのシートを確認します。
- ②「標準的な運賃を算出するための条件設定シート」で、以下の赤枠の箇所の数字を確認し、自社の数値を入力します。
- ③距離制運賃、時間制運賃、燃料サーチャージに関連する前提条件は、小型車、中型車、大型車、トレーラーの4つの区分にそれぞれ入力します。
- ④割増率、割引率、上限下限率は、運賃料金適用方に記載した数値を入力します。

## 標準的な運賃を算出するための条件設定シート

項目		単位	備考	小型車	中型車	大型車	トレーラー
距離制運賃	積込・取卸料金 (30分単価)	金額	時間コスト+作業代金を入力します	2,000円	2,500円	3,000円	3,500円
	附帯作業料金 (30分単価)	金額	時間コスト+作業代金を入力します	2,000円	2,500円	3,000円	3,500円
	待機時間料 (30分単価)	金額	入力数値は告示内容	1,670円	1,750円	1,870円	2,220円
	地区割増 (1回当たり単価)	金額	1回当たり単価を入力します	935円	1,185円	1,605円	2,040円
時間制運賃	積込・取卸料金 (30分単価)	金額	作業代金のみを入力します	800円	900円	1,000円	1,100円
	附帯作業料金 (30分単価)	金額	作業代金のみを入力します	800円	900円	1,000円	1,100円
燃料サーチャージ	平均燃費	距離	車種ごとの平均燃費を入力します	8.00km/ℓ	6.00km/ℓ	4.00km/ℓ	2.00km/ℓ

項目		単位	備考	運賃料金適用方
割増率	特殊車両割増 (冷凍・冷蔵車)	比率	参考) 告示: 2割 (20%)	20%
	休日割増	比率	参考) 告示: 2割 (20%)	20%
	深夜・早朝割増	比率	参考) 告示: 2割 (20%)	20%
	悪路割増	比率	参考) H11: 3割 (30%)	30%
	冬期割増	比率	参考) H11: 2割 (20%)	20%
割引率	往復割引【距離制運賃のみ】	比率	参考) H11: 2割 (20%)	20%
	長期契約割引【距離制運賃のみ】	比率	参考) H11: 1.5割 (15%)	15%

「積込・取卸料金」「附帯作業料金」の考え方  
 ○距離制運賃  
 時間費用+作業代金  
 ○時間制運賃  
 作業代金のみ

上限下限率	上限運賃	比率	参考) H11: 1割 (10%)	10%
	下限運賃	比率	参考) H11: 1割 (10%)	-10%

上段に入力すれば、下限幅は自動入力されます

各数値は理解を深める参考例で、入力の際は各社の実態に応じた数値を入れて下さい。

# ステップ1 (距離制運賃・時間制運賃 共通)

## 条件設定シート

## 入力の留意事項

1

管理番号	車番、ナンバー等	相模100/あ1111
営業所の所在地	都道府県	神奈川県
車両情報	単車・トレーラー	単車
	最大積載量(トン単位)	2.00トン
	車両総重量(トン単位)	9.00トン
発着地	発地	埼玉・川口
	着地	大阪・豊中
算出する運賃	距離制/時間制の別	距離制運賃

・管理番号は、ナンバープレート、車両番号などをに入力します。

・【必須項目】  
適用する基準運賃表を決める項目で、営業所の所在する都道府県等を選択します。

・【必須項目】  
・トレーラーの場合、必ず選択します。  
・単車はトレーラー以外の場合、選択します。

・【必須項目】  
最大積載量、車両総重量は車検証から、「トン単位」でに入力します。

・発着地は管理上必要があればに入力しますが、算出の必須条件ではありません。

・【必須項目】  
算出する運賃の種類を選択します。  
(必ず選択する重要事項)

## 条件設定シート

## 入力の留意事項

・実車キロ程（運送キロ程）を入力します。

・特殊車両割増は、「適用」または「適用しない」を選択します。

・品目別割増は、「適用」または「適用しない」を選択します。  
 ・適用品目により、品目別割増率を設定します。

・特大品別割増は、「適用」または「適用しない」を選択します。  
 ・特大品割増率を設定します。

・地区割増は適用回数を選択します。発地・着地が同じエリアの場合、1回適用。異なるエリアの場合、2回適用。複数箇所の積込・取卸があり、異なるエリアであれば、当該回数分を適用。

・往復割引、長期契約割引は、「適用/適用しない」のいずれかを選択します。

・休日割増、深夜・早朝割増、悪路割増、冬期割増は、「適用する走行距離」を入力します。

距離制運賃	実車キロ程	550km
割増・割引の適用	特殊車両割増(冷凍・冷蔵車)	適用しない
	品目別割増	適用
	品目別割増率の設定(%)	21%
	特大品割増	適用
	特大品割増率の設定(%)	10%
	地区割増	1回適用
	往復割引	適用
	長期契約割引	適用
	休日割増 → 距離(km)	10km
	深夜・早朝割増 → 距離(km)	10km
	悪路割増 → 距離(km)	10km
	冬期割増 → 距離(km)	10km

# ステップ2② (距離制運賃)

## 条件設定シート

## 入力の留意事項

ご参考：時間は小数点で入力します。(例：1時間45分 → 1.75)

10分→0.16    20分→0.33    40分→0.67  
15分→0.25    30分→0.5    45分→0.75    50分→0.83

料 金	積込・取卸作業の時間	1.00時間
	附帯作業の時間	1.00時間
	待機時間料(出発時)	1.00時間
	待機時間料(到着時)	1.50時間
実 費	高速道路利用料金(往復)	555円
	フェリー利用料金<旅客運賃含む>(往復)	555円
	管理料金、手数料(委託者の収受額)	555円
	車両回送料金	555円
	旅費(宿泊が発生する場合)	555円
	一時保管料金	555円
	宵積み料(車両チャージ料)	555円
	その他	555円
燃料サーチャージ	軽油単価(1リットル当たり単価/消費税抜)	100.0円
収受・見積/運賃単価(税込)		140,000円

・ 1 運行での積込作業時間と取卸作業時間の合計を入力します。複数箇所で作業がある場合、作業時間の合計を入力します。

・ 1 運行での附帯作業時間の合計を入力します。

・ 出発時と到着時を別々に時間を入力します。

・ 高速道路料金は往復分の料金を入力します。

・ フェリー料金はドライバーの旅客運賃を含めて、往復分の料金を入力します。

・ 管理料金、手数料は備車先に委託する際の手数料で、金額を入力します。

・ 車両回送料金、旅費、一時保管料金、宵積み料、その他など、各実費を入力します。

・ 前月の軽油の1リットル当たりの平均単価(消費税抜き)を入力。(小数点第1位まで)

・ 現在収受している運賃単価、見積する運賃単価を入力します。(1回・1日当たりの単価)

# ステップ3 (距離制運賃)

## 算出結果

## ポイント

算出条件	管轄運輸局 北陸信越運輸局	
	適用車種区分	大型車
距離制運賃	基準運賃額①	147,240
時間制運賃	基礎額	
	時間加算額	
	距離加算額	
	小計①	
割増・割引の適用	特殊車両割増	29,448
	品目別割増	0
	特大品割増	14,724
	地区割増	1,605
	往復割引	0
	長期契約割引	-22,086
	休日割増	4,724
	深夜・早朝割増	4,724
	悪路割増	7,086
	冬期割増	4,724
	割増・割引額 小計②	44,949
	合計額(①+②)	192,189
	端数処理後:運賃額 計③	192,500
料金	積込・取卸に係る作業料	12,000
	附帯作業料	12,000
	待機時間料(出発時)	1,870
	待機時間料(到着時)	1,870
	小計	27,740
	端数処理後:料金額 計④	28,000
運賃・料金 合計額、消費税等	合計額(運賃・料金)(③+④)	220,500
	消費税及び地方消費税	22,050
	合計額⑤	242,550
実費	高速道路利用料金	555
	フェリー利用料金<旅客運賃含む>	555
	管理料金、手数料(委託者の收受額)	555
	車両回送料金	555
	旅費(宿泊等が発生する場合)	555
	一時保管料金	555
	宵積み料(車両チャージ相当料)	555
	その他	555
	燃料サーチャージ(消費税等込)	0
	実費額 計⑥	4,440
	総計(⑤+⑥)	246,990
上限運賃 下限運賃	上限 基準運賃(割引等適用後)(税抜き)	211,500
	上限運賃額による合計額(税込み)	267,890
	下限 基準運賃(割引等適用後)(税抜き)	173,000
	下限運賃額による合計額(税込み)	225,540
現行收受運賃・比較	現行收受運賃/見積額との差額(税込み)	▲106,990
	格差率(標準的な運賃÷現行收受運賃/見積額)	▲76.4%

・ 距離制運賃の基準運賃額。地域、車種、キロ程から選択されます。

・ **車両割増料**、**品目別割増**が**両方が適用**される場合、割増額が高い項目が表示されます。  
・ 割増額が同じ場合、特殊車両割増額を表示。

・ **往復割引**、**長期契約割引**の**両方が適用**になる場合、割引額が低い項目が表示。  
・ 割引額が同じ場合、長期契約割引を表示。

・ 基準運賃額に対して、割増・割引を適用した額で、端数調整後の額（消費税加算前）。

・ 運賃及び料金の合計額、消費税、合計額に消費税等を加算した額。

・ 実費の合計。消費税等が加算された額か、ご確認ください。

・ 上段：基準運賃は消費税等抜き。  
・ 下段：合計額は上限の基準運賃に料金、実費を加算した額（消費税等込み）。

・ 現行收受運賃との差額：收受運賃 - 請求額・見積額総計  
・ 格差率：現行收受運賃との差額 ÷ 收受運賃

各数値は理解を深める参考例で、入力の際は各社の実態に応じた数値を入れて下さい。

# ステップ2① (時間制運賃)

## 条件設定シート

## 入力の留意事項

時間制運賃	拘束時間	11.00時間
	走行キロ	550km
割増の適用	特殊車両割増(冷凍・冷蔵車)	適用
	品目別割増	適用
	品目別割増率の設定(%)	20%
	特大品割増	適用
	特大品割増率の設定(%)	15%
	休日割増 → 時間	5.00時間
	深夜・早朝割増 → 時間	2.00時間
	悪路割増 → 時間	1.00時間
冬期割増 → 時間	3.00時間	

・ 荷主指定場所から車庫までの拘束時間を入力。  
(拘束時間は労働基準法上の休憩時間を除外し、  
連続運転時間の休憩時間を含む)

・ 走行キロは荷主指定場所から車庫までの走行距離を入力します。

・ 品目別割増は、「適用」または「適用しない」を選択します。  
・ 適用品目により、品目別割増率を設定します。

・ 特大品別割増は、「適用」または「適用しない」を選択します。  
・ 特大品割増率を設定します。

・ 割増は、該当する時間を入力。  
・ 時間は左下にある例を参考に、小数点で入力。

ご参考：時間は小数点で入力します。(例：1時間45分 → 1.75)  
10分→0.16    20分→0.33    40分→0.67  
15分→0.25    30分→0.5    45分→0.75    50分→0.83



# ステップ2② (時間制運賃)

## 条件設定シート

## 入力の留意事項

ご参考：時間は小数点で入力します。(例：1時間45分 → 1.75)  
 10分→0.16    20分→0.33    40分→0.67  
 15分→0.25    30分→0.5    45分→0.75    50分→0.83

料金	積込・取卸作業の時間	3.50時間
	附帯作業の時間	2.50時間
実費	高速道路利用料金	9,600円
	フェリー利用料金(旅客運賃含む)	12,600円
	管理料金、手数料(委託者の収受額)	3,000円
	車両回送料金	3,500円
	旅費(宿泊が発生する場合)	1,500円
	一時保管料金	2,500円
	宵積み料(車両チャージ料)	1,500円
	その他	100円
燃料サーチャージ	軽油単価(1リットル当たり単価/消費税抜)	110.0円
収受・見積/運賃単価(税込)		140,000円

・積込・取卸作業の合計時間を入力。

・1運行の附帯作業の合計時間を入力します。

・高速道路料金は、利用分のみ入力します。  
(往復分とならない場合があります)

・フェリー料金はドライバーの旅客運賃を含めて入力します。  
(往復分とならない場合があります)

・管理料金、車両回送料金、旅費、一時保管料金、宵積み料、その他の実費を入力します。

・軽油の1リットル当たりの単価(消費税抜き)を入力します。

・現在収受している運賃単価、見積した運賃単価を入力し、標準的な運賃と比較します。

# ステップ3 (時間制運賃)

## 算出結果

## ポイント

算出条件	管轄運輸局	北陸信越運輸局
	適用車種区分	大型車
距離制運賃	基準運賃額①	
時間制運賃	基礎額	48,690
	時間加算額	3,230
	距離加算額	3,060
	小計①	54,980
割増・割引の適用	特殊車両割増	0
	品目別割増	0
	特大品割増	0
	地区割増	
	往復割引	
	長期契約割引	
	休日割増	2,444
	深夜・早朝割増	2,444
	悪路割増	5,498
	冬期割増	3,665
	割増・割引額小計②	14,051
合計額(①+②)	69,031	
端数処理後:運賃額計③	69,500	
料金	積込・取卸に係る作業料	-
	附帯作業料	-
	待機時間料(出発時)	
	待機時間料(到着時)	
	小計	0
端数処理後:料金額計④	0	
運賃・料金 合計額、消費税等	合計額(運賃・料金)(③+④)	69,500
	消費税及び地方消費税	6,950
合計額⑤	76,450	
実費	高速道路利用料金	0
	フェリー利用料金<旅客運賃含む>	0
	管理料金、手数料(委託者の収受額)	0
	車両回送料金	0
	旅費(宿泊等が発生する場合)	0
	一時保管料金	0
	宵積み料(車両チャージ相当料)	0
	その他	0
	燃料サーチャージ(消費税等込)	1,538
	実費額計⑥	1,538
総計(⑤+⑥)	77,988	
上限運賃 下限運賃	上限 基準運賃(割引等適用後)(税抜き)	76,000
	上限運賃額による合計額(税込み)	85,138
	下限 基準運賃(割引等適用後)(税抜き)	62,500
	下限運賃額による合計額(税込み)	70,288
現行収受運賃・比較	現行収受運賃/見積額との差額(税込み)	▲27,988
	格差率(標準的な運賃÷現行収受運賃/見積額)	▲56.0%

・ 時間制運賃の基礎額、時間加算額、距離加算額が算出されます。

・ **車両割増料、品目別割増**が**両方が適用**される場合、割増額が高い項目が表示されます。  
・ 割増額が同じ場合、特殊車両割増額を表示。

・ 基準運賃額に対して、割増・割引を適用した額で、端数調整後の額(消費税加算前)。

・ 運賃及び料金の合計額、消費税、合計額に消費税等を加算した額。

・ 実費の合計。消費税等が加算された額か、ご確認ください。

・ 上段：基準運賃は消費税等抜き。  
・ 下段：合計額は上限の基準運賃に料金、実費を加算した額(消費税等込み)。

・ 現行収受運賃との差額：収受運賃 - 請求額・見積額総計  
・ 格差率：現行収受運賃との差額 ÷ 収受運賃